



■平成27年4月

■発行/徳島県邦楽協会

## 第16回 徳島県民文化祭 分野別フェスティバル 第46回 邦楽大会

会長 大西晴一二

平成26年10月12日あわぎんホールにおいて、徳島県民文化祭開催委員会ならびに公益財団法人 徳島県文化振興財団のご助成を賜り、また関係団体、関係各位のご支援、ご協力を得て邦楽大会が盛大に開催出来ましたこと厚くお礼申し上げます。

当協会は、文部科学省の学習指導要領改訂と文化庁委託の「教員と実演家の協働による日本伝統音楽の教材開発」を契機に、日本の伝統音楽の伝承と後継者育成の重要性に鑑み、次代を担う子ども達や教員を対象とした邦楽講習会講師派遣、学校教育における体験活動や鑑賞会など、会員一丸となって邦楽の普及、促進に努めています。

今大会では、流派やジャンルを超えて演奏技術の向上を図るための合同演奏曲「新饌恵比寿寶船」、「昔列呂一邦楽合奏のための」において、原曲を損なうことなく各ジャンルの特性を生かした内容に再構成し、皆様に好評を得た作品に生まれ変わったことは喜ばしいことでした。

さらに、子ども達の出演協力も多くあり、専門家を脅かすような素晴らしい発表と、かつてなかったような新鮮さがあり、未来への希望にあふれた内容となりました。

部門別各団体の発表もそれぞれ集大成され、極められた内容は素晴らしく、コラボを含む発表も加わり、着実に進化、充実した内容となりました。

今後、さらなる大会内容の進化と充実に努め、子ども達にも気軽に参加できる大会となるよう、会員一同で積極的に取り組み、多くの方々に伝統音楽をご理解いただけるよう努めて参りたいと存じます。皆様のご支援とご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



## 私の楽しみの箱

副会長 井内久美子

人生の折り返し点も大きく過ぎて、先輩方のいろいろなお話も、身をもって感じる毎日となりました。日々充実して生きていくにはと振り返してみれば、私には楽しみがたくさんありました。皆様はたはもちろん感じていらっしゃる事と存じますが、我々邦楽に親しんでいる者は、自ら演奏する楽しみは勿論、他の方々の演奏を聴く楽しみ、もっと広げて違うジャンルの芸術を見たり聴いたりする楽しみがあります。それに加えて、自分の芸を人に教えて、その人に邦楽の楽しさを伝えていく喜びもあります。

美味しい物を食べる楽しみ、作る楽しみ、人に食べて喜んでもらう喜び、似た様な感じですね。

私はテニスも楽しんでいますが、読書も好きです。家族や友達とおしゃべりしたり、旅行をしたり、楽しみの箱をたくさん持っていたいと思っています。

## 第29回 国民文化祭・あきた2014 邦楽の祭典

長唄部門 篠懸会 杵屋佐田篠

平成26年10月19日(日) 秋田市文化会館大ホールにおいて開催されました国民文化祭 邦楽の祭典に参加して参りました。

プログラムは23番の一般演奏と3番の特別演奏がありました。私たち徳島県は14番目に演奏いたしました。

今回は長唄部門単独での参加となり、徳島佐苗会・青の会から13名、松永和世繁先生の総勢14名の出演で、「長唄 阿波踊り慕情」をお囃子を入れてにぎやかに演奏してまいりました。

徳島から秋田へは直行のルートが無いので、やはり遠いと感じましたが、伊丹空港から秋田空港までは1時間20分、意外に早いんだな！と正直驚きました。

秋田市では市内あちらこちらで名物の竿灯が実演され、男鹿の「なまはげ」や「西馬音内(にしもない)盆踊り」など、なかなか目にすることのできない秋田の芸能も見る事が出来てとてもよかったです。

邦楽の祭典が行われた秋田市文化会館大ホールは客席数1188の大きなホールですが早い時間から満員の状況で、邦楽熱の高さを感じました。

私たちは長唄ということで、そして阿波踊りが題材の曲ですので、賑かに楽しく演奏しようと頑張って演奏して参りました。

秋田は皆さん親切で、また特に徳島県担当の方々はお世話が行き届きとてもありがたかったです。後日、翌日の秋田の新聞に徳島が出演した記事も出ていましたよとも知らせていただきました。

各地で国民文化祭が開催されますが、徳島県は毎回参加しているとのこと。全国的な文化の交流は必要だと思いますし、改めて日本も広いなあと感じる秋田行きました。



## 平成23年度～平成25年度実施 文化庁委託

### 「伝統音楽普及促進支援事業」を終えて

三曲部門 沢井箏曲院 遠藤綾子  
長唄部門 郁の会 杵屋佐世篠

本事業は、教員と実演家・調整者が一体となって、伝統音楽の将来の伝承者や理解者を増やしていくことを目的に、文化庁の委託を受けて実施されました。

#### 三曲分科会(尺八・箏)

##### ○平成23年度(現状調査)

1年目は、県内学校の現状と課題を把握するための調査の年としました。教員の先生方と協会役員約30名が一同に会し、活発な意見交換がなされました。

##### ○平成24年度(教材作成)

2年目は、教員と実演家による小チームを編成して教材案を作成する年としました。こんな授業をしたい！という視点にたつて、両者の立場から教材作成に取り組み、計20案が提案されました。

##### ○平成25年度(実践研究)

3年目は、作成した教材を用いて協力校で授業を実施する実践研究の年としました。協力校9校において実際の子ども達を目の前に授業を実施しました。その結果については、「教員と実演家の協働による教材開発」(徳島県邦楽協会主催)に報告しております。



3年間の事業を振り返って感じる成果は、効果的な和楽器の授業のために教員の先生方と実演家がともに知恵を出し合い、心を通い合わせたことだと思います。今後は、築いた関係の上に立って、両者の立場からよりよい授業づくりに参加していけるでしょう。

また事業の推進にあたっては、鳴門教育大学・西園芳信先生はじめ徳島県教育委員会、研究執筆にご尽力くださった教育現場の先生方、その他たくさんのご指導・ご助力をいただきました。そして、子ども達の喜ぶ顔が見たい一心から、今日はこちら明日はあちらと楽器をかかえて奔走され、長年の経験と知識を注がれた協会の先生方にあらためて敬意を感じた次第です。

皆様の力をおもちゃまて、日本中の学校から、元気な子ども達の声とともに和楽器の音色がきこえてくる時代到来することを確信した3年間となりました。

## 長唄分科会(三味線)

○ 平成23年度

[合同研究事業・3回実施]

教職員を対象に「三味線」への知識や興味を高め深める機会として、初回は、講師に長唄 佐門会家元 七代目杵屋 佐吉氏 他をお招きし、実技講習会を実施。

約30名の教職員が参加。長唄の代表曲の演奏を交えた講習会は身近に三味線の音色を聴く機会となり、楽器が持つ特徴を効果的に伝えることができた。

2回目は、学校において「伝統音楽」や「和楽器」の授業がどのように行われているかを把握するため、教職員研修課指導主事であった小笠原仁美先生に講演を依頼した。「我が国の伝統音楽の指導」と題し、音楽科の学習指導要領の改訂に趣旨、方針から具体的事項や要点をお話いただき、教職員と実演家が共に学ぶ機会となった。

3回目は、実演家(邦楽協会員)による実技講習会を実施。「さくら さくら」や「阿波踊りのぞめき」など、身近な教材を使った指導であったため、参加者は意欲的に受講されていた。また、学校での伝統音楽、和楽器への意識や現状を把握するためアンケート調査を行った。

[教材作成事業・2回実施]

学校教育において和楽器の授業を効果的に行うためには、どのようなカリキュラムが適当か、必要な教材の在り方等について勉強会を実施。教職員、実演家、指導助言者間の素地を整え、教材作成の課題と現状について、それぞれの立場から意見交換を行った。

○ 平成24年度

[教材作成事業・4回実施]

教材作成研究委員会を設置し、初年度に実施したアンケート調査や講習会での質疑応答、また教材作成事業において出された意見を元に、教材の構想立案。委員会において、教職員や指導助言者の意見を参考に執筆には実演家が当たった。作成スケジュールの確認、役割分担等について話しあう他、目次立てや表現方法といった実際に形として見えるよう教材素案を作成した。

[合同研究事業・2回実施]

教材研究事業において作成中であった教材素案を使って、教職員に対して実技講習会、及び意見交換を実施。素案に対してコンテンツごとに意見を求め、児童生徒達にとっての難易度や理解度を研究。習得した技能が表現教材となり、創作活動や鑑賞教材へ繋がる内容であることに参加者より好評を得た。しかし、学校授業において使用する際に適した表現であったり文言の選択等、修正箇所への指導もあった。

○ 平成25年度

[教材研究事業・執筆委員会4回／

推敲会議(三曲合同)2回／全体会議1回(三曲合同)]

事業最終年度にあたり、教材の完成を目指した。審査委員からの指摘項目の検討、指導助言者や教職員の校閲を元に内容や文言の加筆修正。映像に収録するコンテンツの検討と撮影。最終的に三味線音楽の研究者である宮城教育大学教授の小塩さとみ先生の推敲を受け、教材完成は年度末ぎりぎりまでの作業となった。小塩先生には年度末でお忙し中、大変丁寧に推敲いただき、実演家の私達も大きな勉強の機会となった。教材の完成作業と平行して、三曲部門との教材仕様の統一や広報の方法の検討。三年間の事業のまとめを行った。

事業にあたり、関係者の方々、温かく事業を見守っていただきました皆さまに改めてお礼申し上げます。

伝統音楽や和楽器の普及促進もまだまだ、これからだと思っています。しかし、この事業を実施したことにより、その第一歩は踏み出せたのかなという実感もあります。講習会で学ばれた教職員の方々や、作成した教材を目にされた先生が、一人でも多くの子ども達に三味線の魅力を伝えていただければ、阿波文化に息づく三味線は継承されると思っています。



## 「喜多流喜陽会」のこと

喜多流喜陽会

萩野拓郎

徳島における謡曲は、江戸時代に蜂須賀家の式楽として喜多流の能・謡曲が行われ、「阿波国最新文明史料」(大正3年神河度蔵編)の能楽概観によりますと、「能役者の勤務は、毎年十月末に京大阪より寺島の長屋に来て、翌年三、四月頃帰途に就く。その在番中は御用の能楽あり、その主たる勤は御謡初めなり。余暇は身分ある人には教えに行き又来たりて教えを受ける」とありますが、明治維新によりその指導者を失い、謡曲は廃れてしまいました。

その後、「阿波画人誌」(平成7年 福田憲熙著)の画家「湯浅桑月」の記述によりますと、「名は茂。徳島市幟町の人。明治11年8月28日生まれ。謡曲家湯浅小太由の二男。住吉派の佐香美古の門人で、19歳の時大阪に出て一派を立てた。明治37年帰郷し、徳島市大工町に住んで画筆を揮った。また、幸流の小鼓を生駒信近に学び、次いで大正9年喜多流の大島寿太郎(福山市)を迎え、能の研究団喜陽会を復活し、同志と研究を重ね、昭和2年喜多宗家より教授の免状を受けた」とあり、喜多流喜陽会は、謡曲家湯浅父子に始まりました。

そして、湯浅茂氏と共に教えを受けた平土三平氏(明治28～昭和45年)が引き継ぎ、昭和42年の徳島県邦楽協会の設立に常任理事として参画しています。その後、天野義雄氏(昭和5年～平成18年)が長く邦楽協会に関わり副会長を務め、現在は、常任理事の吉田文明氏に引き継がれています。



## 会員紹介

### ○ 謡曲部門

#### ◇ 喜多流喜陽会(きたりゅうきようかい)

代表 吉田文明(喜多流教授) 師範代 中野広二  
事務局 萩野拓郎

流派 喜多流喜陽会は、阿波藩の式楽喜多流の流れを汲み、現在は喜多流職分栗谷能夫師の指導を受け毎年稽古会を行っている。鳴物は小鼓が幸流、大鼓が葛野流、太鼓が金春流、笛が森田流。

会員 20名、準会員(子供)6名

活動 お稽古は、素謡、素謡と仕舞、素謡と仕舞と鳴物のグループで、それぞれ曜日を分けて毎週一回行っている。演奏会は5月(春季会)、11月(秋季会)に謡曲・仕舞・舞囃子会を実施し、邦楽大会、徳島市芸能祭に参加している。

#### ◇ 嘉風会(かふうかい)

代表 橋本ハル子(観世流能楽師師範)

流派 観世流能楽、謡、仕舞の指導と普及び活動

会員 25名

活動 自宅で個人指導。中央公民館の成人大学講座「謡・仕舞をたのしもう」で指導。八万コミセン「八万能楽子ども教室」で指導。

平成19年から毎年、井上同門定期能楽の会、「松交会」(京都)、大阪井上同門能楽の会などに出演。嘉風会主催の発表会のほか他流との合同発表会、県民文化祭、徳島市コミセン祭、中央公民館祭、こども邦楽演奏会ほかに出演。平成21年3月文化の森県立近代美術館主催、同8月二十一世紀館主催の「能へのおさそい」で分かり易い能を企画演出。平成21年10月から八万南、鳴教大附属、北島北、津田の各小学校、鳴教大附属特別支援学校など県下で毎年数校ずつ、また県事業で平成23年7月から半田小学校、八万南幼稚園、みのり保育園ほかで、京都より吉浪壽晃師、浦部幸裕師、寺澤幸祐師ほかを招き、能楽の体験学習を行っている。能は、難しく堅苦しいと誤解され敬遠されがちだが、日本の芸能の原点であり、能を楽しむDNAが日本人にはあるので、多くの方々に能に感動して楽しんで頂けるよう、謡、仕舞の指導だけでなく、一流の能楽師と共に能の伝承と発展を願い、地域社会に貢献できるよう努力している。

### ○ 長唄部門

#### ◇ 徳島佐苗会(とくしまさなえかい)

代表 会長 神原常経

流派 長唄 佐門会所属

会員 社中35名

杵屋佐田篠(篠懸会)、杵屋佐伴苗(玄の会)  
杵屋佐栄篠(旦会)、杵屋佐世篠(郁の会)  
日本橋よし栄(東会/俗曲・端唄)

活動 県内で長唄、三味線、端唄の指導を行い、四国大学、徳島市中央公民館、阿波おどり会館、徳島新聞カルチャーセンター、徳島シビックセンター、NHK文化センター、カルチャーセンター徳島など、多数の教室で講師を務め、学校での三味線体験事業や自主事業である「こども邦楽(三味線)」、「こども三味線教室」を実施し、次世代を担う子供達への伝承に努めている。また郷土芸能など地域

文化遺産活性化のため、「邦楽の夕べ〜屋形船演奏」や「三味線流し」などを実施し、風情ある三味線の音色を届けている。年2回のお祝い会では、日頃のお稽古の成果を発表し、毎年開催する企画演奏会「青の会」では、身近で親しみのある「テーマ」で選曲、構成に趣向を凝らし、楽しく分かりやすい内容の演奏会に努めている。

#### ◇ 長唄稀綾會(ながうたきりょうかい)

代表 会長 稀音家治乃

流派 稀音家流、11世杵屋六左衛門が稀音家照海と名乗ったのに始まる。大正15年(1926年)3世杵屋六四郎が稀音家と改姓、以後一門の名となる。

活動 稀綾會(徳島)春幸会(高知)を主宰。鳴門教育大学非常勤講師。学校などにて演奏及び指導を行う。県邦楽協会演奏会をはじめ各種演奏会に出演している。

#### ◇ 長唄佳趣会(ながうたかしゅうかい)

代表 東音三木千佳子

活動 県邦楽協会演奏会を始め、学校、祝賀会、催し物などへ出演しています。また平成24年秋には東京で行われる親師匠の演奏会に社中で出演しました。

#### ◇ 稀聲会(きせいかい)

代表 稀音家四郎五郎

流派 稀音家

会員 35名

活動 週二回個人指導。唄・三味線両方指導。週一回カルチャー教室指導。新年会、浴衣会、カルチャー発表会等、全員参加で演奏会をしています。また名取り同門会等に参加しています。

#### ◇ 杵家会徳島支部(きねいえかいとくしましぶ)

代表 支部長 杵家弥津穂

流派 四世杵家弥七により、大正11年に「文化譜」が完成されました。この譜は、わかりやすく、便利なので、最も広く普及しています。

会員 現在65名で第一、第二、第三支所があります。

活動 稽古は各支部所属の師範が指導をしています。年に数回、家元による講習会と教室を開き、支部毎にお弾き初め、浴衣会を行っています。また定期的に支部演奏会を開催、県邦楽協会演奏会をはじめ流派演奏会、その他催し物などに出演しています。

#### ◇ 長唄古都和会(ながうたことわかい)

代表 松永和幸節

流派 日本長唄協会 松永流

会員 約35名

活動 稽古は毎週1回(合同練習は別)。県邦楽協会主催の邦楽大会出演。古都和会初弾き会、ゆかた会開催。長唄同門会、関西大会に出演。三曲協会主催の三曲演奏会、ゆかた会に出演。都山流、琴古流、竹保流尺八演奏会に賛助出演。体験学習、幼稚園・小学校・中学校・高等学校(現在までに約50校)、慰問、保健老健養護施設訪(現在までに約30施設)、会員相互の親睦と邦楽を学び上達を喜びながら継承にも努めています。

#### ◇ 春松会(しゅんしょうかい)

代表 松永和三舞郎

会員 40人

活動 徳島・鴨島教室を中心に活動。新年会、ゆかた会を開催し、邦楽大会に出演。

◇ 恵会(めぐみかい)

代表: 松永和幸恵

流派: 日本長唄協会 松永流

活動: 邦楽協会を中心に活動し、邦楽大会などに出演。

○ 三曲部門

◇ 琴古流尺八美風会徳島支部(きんこりゅうしゃくはちびふう  
かいとくしましぶ)

代表: 支部長 大西晴一二

副支部長 宮竹晴園、竹内倫風、櫻井晴眉(師範の  
会)、近藤晴芳(古典に親しむ会)

流派: 琴古流

会員: 約50名

活動: 琴古流尺八古典本曲、本曲、古典、新曲等幅広い  
演奏活動と施設、イベント、小中学校(体験学習)等  
ボランティア活動を通じて日本の伝統音楽の普及と  
発展に努めています。

吹き初め会、三曲定期演奏会、野外活動、支部研究  
会、三曲ゆかた会、本曲講習会、四国ブロック夏季  
錬成会、邦楽大会、徳島市芸能祭、本部演奏会、  
支部演奏会、絃方演奏会賛助、定例研究会(毎月第  
一、第三金曜日八万コミセン)等を行っています。

◇ 正絃社(せいげんしゃ)

代表: 室 志津代

流派: 生田流箏曲正絃社は、初代家元野村正峰、二代家元  
野村祐子の作品を中心に指導演奏活動を行っている。

会員: 約20名

活動: 邦楽大会、三曲演奏会、尺八演奏会等に出演。  
毎年1月お弾き初め会(初春のしらべ)開催。正絃社  
春の公演(名古屋)、関西作曲家協会演奏会(大阪)、  
正絃社幹部会夏季合宿、講習会等に参加。

◇ 箏曲あきら会(そうきょくあきらかい)

代表: 林 晶子(雅楽晶)

流派: 生田流正派音楽会、大師範藤本雅登伎先生に師事。  
平成4年から箏曲あきら会を創設

会員: 1名

活動: 古典曲、現代曲、ポピュラーソングなどに取り組んで  
います。演奏技術向上のほか、邦楽の歴史等も学ぶ  
よう努めています。

◇ 沢井箏曲院(さわいそうきょくいん)

代表: 遠藤綾子

会員: 20名

活動: 様々なジャンルとコラボレートし、箏の可能性を発信、  
作曲、編曲活動に取り組み、「邦楽を愛好する子ども  
育成会」で後継者育成にも努めています。

◇ 竹保流尺八徳島支部(ちくほりゅうしゃくはちとくしまけんしぶ)

代表: 支部長 浜井弘保

支部長代行 兼松劉保

副支部長 西野篁保・清水露保・畑 笙保

幹事長 近藤鈴保

事務局長 中田笏保

会員: 20名

流派: 竹保流尺八徳島支部は、老若男女を問わず楽しめる  
尺八を目指すとともに、県内邦楽の普及発展と地域  
文化の向上を目差し、昭和49年12月に発足しました。

活動: 主な活動状況は、吹き初め会、夏季合宿、年1回の  
定期演会、徳島県邦楽協会、徳島県尺八協会、徳島  
県三曲協会演奏会、京都明暗寺尺八本曲全国献奏  
大会へ積極的に参加し、研鑽を積んでおります。

地域への貢献として病院施設への慰問、小学校の  
尺八クラブへの指導等ボランティア活動も行っており  
ます。又、徳島新聞カルチャースクール、徳島市中央  
公民館尺八講座に講師を派遣し邦楽の発展に寄与  
しております。

◇ 当道音楽会徳島中支部 木内社中

(とうどうおんがくかいとくしまなかしぶ きのうちしやちゆう)

代表: 菊村弘子(代行 島本菊保)

流派: 公益社団法人 当道音楽会

会員: 菊華茂美 菊弘敏子ほか6名

活動: 本部演奏会、邦楽大会、三曲協会演奏会、ゆかた会  
等に出演し、尺八の演奏会に賛助出演しています。  
また小学校で箏の生の音を聞いてもらおうと演奏活動  
を行っています。毎週、日曜日に渭北福祉館で尺八  
も合せ十数名で練習し、年に数回は、本部より先生  
をお招きして講習会も行っています。

◇ 当道音楽会徳島中支部 菊美会(とうどうおんがくかい  
とくしまなかしぶ きくみかい)

代表: 菊村美枝子

流派: 公益社団法人 当道音楽会

会員: 1名

活動: 徳島県邦楽大会・三曲協会演奏会・ゆかた会等に  
出演したり、尺八の演奏会に賛助出演したりしていま  
す。古典を中心に演奏活動を行っています。

◇ 箏曲朱音会(そうきょく あかねかい)

代表: 猪井恵朱

流派: (財)日本当道音楽会所属(本部 大阪)

会員: 20名

活動: 2008年から「あせび子ども邦楽教室」講師で、会員  
50名。2010年から「邦楽を愛好する子ども育成会」  
を発足し代表。2011年から阿波の秘曲「紅葉合」の  
十六人目伝承者。

◇ 美乃里会(みのりかい)

代表: 井内久美子

流派: 生田流箏・三絃

会員: 約40名

活動: 主に古典を学ぶ会で、徳島県三曲協会、徳島県邦楽  
協会に所属し、その演奏会や尺八の演奏会、自会の  
演奏会等で古典曲を演奏し、勉強しています。

◇ 都山流徳島支部(とざんりゅうとくしまけんしぶ)

代表: 支部長 山上明山 南の会 村上聖山

西の会 地紙湫山 北の会 松田太山

流派: 都山流尺八楽会(公益財団法人)徳島県支部

会員: 75名(中学生から高齢者まで、女性も数名)

活動: 毎年の定期演奏会は、今年で68回を数えます。  
徳島県邦楽協会、徳島県三曲協会演奏会などへの  
出演のほか、講習会、コンクール、学校訪問等幅広く  
活動しています。

◇ 箏曲古都和会(そうきょくことわかい)

代表: 吉崎夕華

流派: 財団法人 日本当道音楽会所属

会員: 26名

活動: 那賀川中学校講師、富岡東高等学校羽ノ浦校講師、  
邦楽協会主催の邦楽大会、三曲協会主催の三曲演  
奏会、ゆかた会に出演。都山流、琴古流、竹保流の  
尺八演奏会に賛助出演。体験学習で、幼稚園、小学  
校、中学校、高校約50校で演奏。保健老健養護施  
設、約30施設の慰問演奏。会員と邦楽を学びつつ、  
継承者の育成に努めています。

◇ 宮城会四国支部内田社中(みやぎかいしこくしぶ  
うちだしやちゆう)

代表: 内田道子

流派: 宮城会

会員: 30名

活動: 先人達が作曲した、特に宮城道雄が思いを込めた数多くの作品を、自分達なりに感じ、楽しみながら練習に励み、その頑張りの結果を舞台上で発表しています。日本人として生まれたことを誇りにし、伝統音楽の中で心身共に成長し続ける。それを社中の目標として精進しています。全国各地で行われる宮城会の演奏に参加しています。

○ 琵琶部門

◇ 筑前琵琶旭城会(ちくぜんびわきよくじょうかい)

代表: 工藤旭城

流派: 筑前琵琶

会員: 5名

活動: 邦楽大会、徳島市芸能祭その他に出演しています。

◇ 薩摩琵琶錦心流旭水会

(さつまびわきんしんりゅうきよくすいかい)

代表: 浜 旭水

流派: 錦心流琵琶一水会

会員: 12人

活動: お稽古は週1回

邦楽を楽しむつどい、ケアハウスいちご苑、祖谷源内の里ふるさとまつりなどに出演しています。

◇ 錦心流琵琶全国一水会徳島支部

(きんしんりゅうびわぜんこくいつすいかいとくしましぶ)

代表: 芝原正水

流派: 錦心流琵琶全国一水会所属

初代徳島支部長の故内田欽水師の教えをもとに、お稽古を続けています。

会員: 若干名

活動: 薩摩琵琶の弾き語りをし、幽玄にして勇壮な音色と余韻を楽しみ、琵琶の魅力を伝えていきたいと活動しています。徳島県邦楽協会演奏会のほか、大阪支部演奏会、錦心祭全国大会などに出演しています。

○ 民謡部門

◇ 阿波ぞめき 渦の会(あわぞめき うずのかい)

代表: 福島俊治

流派: 福島流

会員: 160名

活動: 公演、おさらい会を隔年実施。邦楽大会、徳島市芸能祭ほか多数出演しています。

春、夏、秋には富田町富街通りで三味線流しを実施。東日本大震災チャリティーコンサートを県下で行い、義援金を日本赤十字社徳島県支部に寄付しました。はなはるフェスタに参加し、阿波おどりは4日間参加し、路上ライブも行っています。

月2〜3回介護施設などへボランティアで出演しています。

○ 吟詠部門

「徳島県吟詠連盟」及び「徳島県詩吟剣詩舞道連盟」の加入者で、以下の流会派が邦楽協会に加入しています。

◇ 青雲流日本吟詠会(せいいうんりゅうにほんぎんえいかい)

代表: 荒瀬龍鳳

会派: 徳島県吟詠連盟 理事長

会員: 100名

◇ 揚心流日本朗詠会(ようしんりゅうにほんろうえいかい)

代表: 八木瑞堂 会長・事務局長 三原瑞顕

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 会長、運営委員

会員: 700名

◇ (公社)関西吟詩文化協会明穂会(かんさいぎんしぶんかきょうかいめいすいかい)

代表: 山下明穂

会派: 徳島県吟詠連盟 副理事長

会員: 100名

◇ 岳芯流吟詠会(がくしんりゅうぎんえいかい)

代表: 長田岳心

会派: 徳島県吟詠連盟 副理事長

会員: 125名

◇ 浄心流龍峰会(じょうしんりゅうりゅうほうかい)

代表: 亀谷龍藍

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 理事長

会員: 100名

◇ 和光流東山吟詠会(わこうりゅうとうざんぎんえいかい)

代表: 泉 耕光

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 100名

◇ 貫心流吟道吉野川愛好会(かんしんりゅうぎんどうよしのがわあいこうかい)

代表: 桃井鴻春

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 常任理事

会員: 150名

◇ (公社)関西吟詩文化協会景昶会(かんさいぎんしぶんかきょうかいけいしょうかい)

代表: 藤本景孟

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 200名

◇ 吟道瑞祥流(ぎんどうずいしょうりゅう)

代表: 二代原田瑞祥

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 100名

◇ 飲水流吟詠会(きんすいりゅうぎんえいかい)

代表: 安田水鈴

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 125名

◇ 瑞鳳流日本吟詠会(ずいほうりゅうにほんぎんえいかい)

代表: 藤村瑞宝

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 50名

◇ 吟詠鷺風流(ぎんえいおうふうりゅう)

代表: 中野吟鶯

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 100名

◇ 渭山流吟剣詩舞道至道会(いざんりゅうぎんけんしぶどうしどうかい)

代表: 吉田稲山

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 200名

## 平成26年度 活動記録

### ○ 徳島県芸術教育実技講座派遣事業

- 徳島県総合教育センターの実技講座に会員を派遣。
- 平成26年7月31日 三曲部門 琴古流尺八美風会徳島支部(尺八)
- 平成26年8月1日 長唄部門 佳趣会(三味線)
- 平成26年8月6日 三曲部門 沢井箏曲院(箏)

### ○ 第46回邦楽大会

[第16回県民文化祭 分野別フェスティバル]

平成26年10月12日(日) 11時～ あわぎんホール

- ◇ 主催: 徳島県邦楽協会、 徳島県民文化祭開催委員会
- 助成: 徳島県文化振興財団

#### ◇ 出演団体

##### \* 一般の部(出演順)

都山流徳島県支部

「豊年太鼓」

当道音楽会徳島中支部・都山流徳島県支部

「不思議見聞録」

竹保流尺八徳島県支部・日本当道音楽会所属朱音会

「春の夜」

長唄 佳趣会

「神田祭」

公益社団法人関西吟詩文化協会景和会

構成吟「阿波踊り」

薩摩琵琶錦心流旭水会・竹保流尺八徳島県支部

「偲ぶ荒城の月」

喜多流喜陽会

舞囃子「八島」

嘉風会(観世流)

独吟「敦盛」 仕舞「蟬丸」

揚心流日本朗詠会

「塞下の曲・その(二)」

吟道瑞祥流

「蘇台覽古」「京都東山」

竹保流尺八徳島県支部・正絃社

「空と海と太陽と」

青雲流日本吟詠会

「名槍日本号(黒田節入り)」

琴古流尺八美風会徳島支部・美乃里会

「秋の曲」

稀聲会

「鳥羽絵」

宮城会四国支部 内田社中

「御代の祝」

阿波ぞめき渦の会

「渦の舞」

八綾乃会・都山流徳島県支部

「上弦の曲」

##### \* こども・学生の部(出演順)

渭山流吟詠詩舞道至道会

「春日 薬王寺を訪ね」「泉岳寺」

吟道瑞祥流

「月夜三叉口に舟を泛ぶ」

沢井箏曲院

「汽車ごっこ」「斜影」

都山流明山会

「都山流本曲 岩清水」

萌の会

「小曲 春の園・君のめぐみ」

- ◇ 入場者数 371名

### ○ 第43回徳島市芸能祭

平成27年3月1日(日) 徳島市立文化センター

- ◇ 主催: 徳島市文化協会
- ◇ 出演団体 (プログラム第一部 出演順)  
喜多流喜陽会

仕舞「羽衣」「西大母」「玉乃段」

錦心流琵琶全国一水会徳島支部

薩摩琵琶「屋島の誉」

貫心流吟道吉野川愛好会

「山中問答」「花を惜しむ」

乃木流吟詠詩舞道徳島県本部

歌謡吟詠「白鷺の城」

欽水流吟詠会

「桜花の詞」

鶯風流

「一の谷懐古」

竹保流尺八徳島風の会

「瀧落曲」

当道音楽会徳島中支部・都山流徳島県支部

「かごめの主題による箏四重奏曲」

春松会・鼓月会

「越後獅子」

阿波ぞめき渦の会

「渦の舞」

### ○ 後援事業

- ◇ 第98回徳島県吟詠コンクール大会  
平成26年4月6日(日) 石井町中央公民館
- ◇ 第9回徳島県尺八協会演奏会  
平成26年4月29日(祝) ふれあい健康館ホール
- ◇ 三味線のバチで綾なすつづれ織り  
平成26年5月3日(祝) あわぎんホール
- ◇ 第84回喜多流春季謡曲・仕舞・舞囃子会  
平成26年5月18日(日) ヨンデンプラザ徳島
- ◇ 杵家会徳島支部第4回長唄演奏会  
平成26年6月15日(日) あわぎんホール
- ◇ 第24回子ども邦楽演奏会  
平成26年6月21日(土) あわぎんホール
- ◇ 和と洋の絃で織りなす巡礼歌  
平成26年6月22日(日) あわぎんホール
- ◇ 徳島県三曲協会ゆかた会  
平成26年7月27日(日) ヨンデンプラザ徳島
- ◇ 第99回徳島県詩吟剣詩舞道大会  
平成26年10月5日(日) 石井町中央公民館
- ◇ 第31回竹保流尺八徳島県支部演奏会  
平成26年10月26日(日) あわぎんホール
- ◇ 琴古流尺八美風会徳島支部演奏会  
平成26年11月3日(祝) あわぎんホール
- ◇ 第85回喜多流秋季謡曲・仕舞・舞囃子会  
平成26年11月9日(日) ヨンデンプラザ徳島
- ◇ 都山流尺八第68回定期演奏会  
平成26年12月7日(日) 石井町中央公民館

## 平成27年度予定

年月日	部門	主催団体名	催しの名称	会場
4月5日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	野外活動	新町橋南岸ウッドデッキ
4月5日(日)	吟詠	徳島県吟詠連盟	第46回徳島県吟士権者決定吟詠大会	あわぎんホール4階大会議室
4月19日(日)	吟詠	徳島県吟詠剣詩舞道連盟	平成27年度徳島県吟詠コンクール大会	石井町中央公民館
5月10日(日)	吟詠	徳島県吟詠連盟	第30回徳島県高年吟士権大会	あわぎんホール4階大会議室
5月17日(日)	吟詠	(公財)日本吟剣詩舞振興会	平成27年度全国吟詠コンクール徳島大会	あわぎんホール4階大会議室
5月17日(日)	謡曲	喜多流喜陽会	第84回春季謡曲・仕舞・舞囃子会	ヨンデンプラザ3階ホール
5月24日(日)	民謡	阿波ぞめき渦の会	第15回渦の会公演	文化の森イベントホール
5月24日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	講習会(正弦社)	昭和町あたけ
5月24日(日)	吟詠	(公財)日本吟剣詩舞振興会	平成27年度全国剣詩舞コンクール徳島大会	石井町中央公民館
6月2日(日)	民謡	阿波ぞめき渦の会	小鼓奏者西川啓光とのコラボ	花杏豆
6月7日(日)	三曲	美乃里会	美乃里会演奏会	アスティ ときわホール
6月7日(日)	吟詠	徳島県吟詠連盟	平成27年度四国・愛連出場者決定大会	あわぎんホール4階大会議室
6月21日(日)	吟詠	日本吟詠総連盟	平成27年度全国吟詠コンクール四国大会	石井町中央公民館
7月12日(日)	吟詠	(公財)日本吟剣詩舞振興会	平成27年度全国吟詠コンクール四国大会	あわぎんホール4階大会議室
7月～8月15日	長唄	徳島佐苗会	屋形船演奏「邦楽のタベ」	新町川
7月26日(日)	三曲	三曲協会	三曲ゆかた会	ヨンデンプラザ3階ホール
7月26日(日)	長唄	徳島佐苗会	長唄浴衣会	あわぎんホール
8月	長唄	長唄古都和会	ゆかた会	未定
8月12日(水)	長唄	徳島佐苗会	三味線流し	市内中心部
8月12～15日	民謡	阿波ぞめき渦の会	富街ぞめき三味線路上ライブ	富田町(検番ビル前)
8月23日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	支部本曲研究会	八万コミセン
8月30日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	四国ブロック夏季錬成会	第6番札所安楽寺
9月20日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	野外活動	未定
10月4日(日)	吟詠	徳島県吟詠剣詩舞道連盟	第100回徳島県吟詠剣詩舞道大会	石井町公民館
10月11日(日)	全	徳島県邦楽協会	第47回邦楽大会	あわぎんホール
10月11日(日)	吟詠	中四国剣詩舞道総連盟	第48回中四国剣詩舞道徳島大会	鳴門市民文化会館
10月25日(日)	三曲	竹保流徳島県支部	竹保流徳島県支部定期演奏会	シビックセンター4階ホール
10月25日(日)	吟詠	徳島県吟詠連盟 四国吟詠剣詩舞総連盟	第57回徳島県秋季吟詠剣詩舞大会(午前) 平成27年度四国吟詠剣詩舞選手権大会	あわぎんホール4階大会議室
11月	長唄	長唄古都和会	あわたけ会	未定
11月14～15日	三曲	国文祭かごしま2015	邦楽の祭典	始良市文化会館
11月15日(日)	謡曲	喜多流喜陽会	第85回秋季謡曲・仕舞・舞囃子会	ヨンデンプラザ3階ホール
11月17日(火)	長唄	徳島佐苗会	第18回青の会 徳島佐苗会長唄演奏会	あわぎんホール
2月7日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	美風会徳島支部演奏会	羽ノ浦コスモホール
2月7日(日)	全	徳島市文化協会	第44回徳島市芸能祭	あわぎんホール
2月21日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	吹き初め会	昭和町あたけ

## 役員紹介

顧問 参与	大櫛亜童、杵屋佐篠、浅香寿穂 杵屋佐吉、杵家弥七、稀音家六四郎、 松永忠五郎、望月太明之、八木瑞堂、 浜井弘保、松永和世幸、荒瀬龍鳳
会長	大西晴一二
副会長	東音三木千佳子、井内久美子
常任理事 (部門長兼)	猪井恵朱(三曲)、工藤旭城(琵琶)、 稀音家治乃(長唄)、吉田文明(謡曲)、 亀谷龍藍(吟詠)
監事	長田岳心、内田道子、山上明山、 山下明穂、稀音家四郎五郎、遠藤綾子、 清水露保、杵屋佐伴苗 泉耕光、室志津代
事務局	局長 遠藤綾子 次長 島本菊保 萩野拓郎、安田水鈴、松永和三舞郎

## 表紙について

## ロゴ(マーク)

平成21年、徳島県邦楽協会の団結のシンボルとして、特に県外での演奏活動(国文祭等)に際して、協会代表の認識と誇りを持ってもらうよう創られました。

## 題字

書家 後藤泰秀(鹿三)氏(宝生流謡曲家)によるもので、昭和49年創刊号から使用されています。